

平成29年第4回定例会一般質問要旨

◎高橋議員

1. 教育行政について

今年度の教育行政推進方針に則り、現在町では子ども達への良好な教育の実現のために、佐呂間町教育大綱を基本とした学校の全教育活動の一層の充実、地域社会の関わりから心身共に成長する教育環境づくりなどの方針を立てていますが、それら子ども達への教育行政の取り組み・進捗について伺います。

- ① 学校教育の推進として、「1、確かな学力の育成」とあり、学力向上のための委員会を設置し、学力調査の分析や家庭学習の習慣化など、学力向上のための様々な取り組みにより、一定の成果が上がっていることとと思われます。最近導入したばかりのICT活用など、まだ評価の難しいところもあるでしょうが、学力向上における現在の達成度合の評価としてどのように捉えているのか伺います。
- ② 信頼される学校づくりの推進として、コミュニティスクールの導入が検討されています。保護者・地域住民が参画しやすい環境への取り組みとしての具体策、及び今後の導入までの工程としてどのような策を講じているのか伺います。
- ③ 佐呂間高校存続対策のため、町は各種大会等への経費助成や進路実現支援など様々な要望に精力的に答えており、生徒たちにとってとてもありがたいことと思われませんが、存続及び生徒数確保への更なる取り組みとして、今後どのような施策を考えているのか伺います。

平成29年第4回定例会一般質問要旨

◎三田議員

1. 通学路の安全確保について

冬期間、通学路に雪が積もっていても、頑張って歩道の雪を漕いで歩く子どももいれば、歩道から外れ車道を歩いている子どももいます。まずは道路の除雪が優先であることは理解していますが、事故などに巻き込まれないようにする必要があると考えます。

歩道の雪の上で滑らないように、滑り止めをまくなど工夫をしていると思いますが、どのように安全の確保をしているのか伺います。

また、安心して通学路を歩けるよう、街灯の配置も考慮していくべきと思いますが、どのように考えているのか伺います。

2. 外国人研修生の地元での交流について

佐呂間にいる外国人研修生は、人口全体の約3%で150名程度であり、業種は水産業、農業研修がほとんどだと考えますが、どのようなところで研修をされているのか、その内訳を伺います。

また、研修生の受け入れは、団体、個人と、様々な形態があると聞いていますが、研修生同士の交流はどのようにされているのか伺います。

平成29年第4回定例会一般質問要旨

◎但木議員

1. 新年度から導入の国保事業の都道府県単位化による町民への影響について

- ① 町民1人あたりの保険税はどう試算され、またその内容はいつ頃周知されるのか伺います。
- ② 厚生省は3つの激変緩和措置を示していますが、その内容と、町民にどのような影響があるのか伺います。
- ③ 町独自の軽減策として、子育て世帯への軽減策の考えについて伺います。

2. 介護保険事業について

改正介護保険法により、介護利用負担の引き上げなどの内容の見直しとなっていますが、これらは新年度から始まる第7期介護保険事業へも影響されることと思われます。

- ① 介護保険料の引き上げはあるのか伺います。
- ② 負担が2割から3割に増し、負担増によって介護サービスの利用抑制につながらないか心配するところですが、町への具体的な影響について伺います。
- ③ 国の推し進める介護給付費削減のための考え方に対し、町はどのような認識を持ち、どう対応する考えなのか伺います。
- ④ 障がい者は65歳で、障がい者福祉から介護保険へと移行します。新たな利用者負担が発生することで、高齢障がい者の生活を脅かすおそれがありますが、高齢障がい者の実態と、町の対応について伺います。